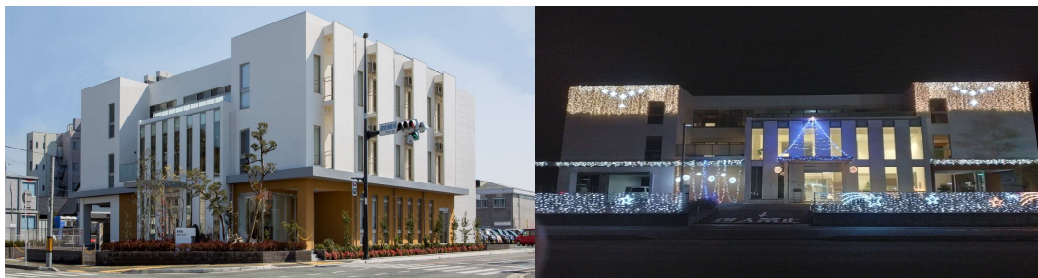


令和4年度ノーリフティングケア普及促進事業
モデル施設実践報告会

腰痛者ゼロの実現に向けて 意識改革～2年目の挑戦～

社会福祉法人 光輪会特別養護老人ホーム
常照苑サンシャイン

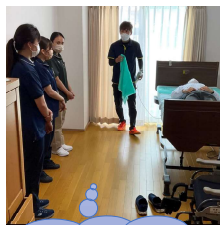


【2年目の教育研修の実態】

1年目に比べて、集合研修がほとんど出来なかった！！

原因

コロナ禍による密になる研修の中止、見送り（特に技術面）
指導職員も交替勤務の為、時間確保が困難



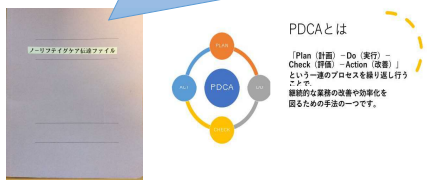
新入職員を優先
(サンステップさんの
協力)

【2年目の教育研修の工夫】

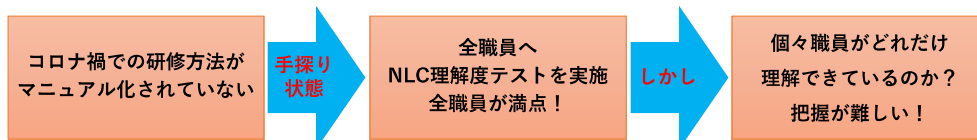
各フロアのPCデスクトップに動画貼付



研修資料を作成しファイルへ



【教育研修の工夫をしたが・・・】



職員の個別研修だけでは、提案や意見を発信する機会が
極めて少なくなってしまう

見えてきた課題

コロナ禍でもできる研修方法(個別研修)をマニュアル化
研修時間を確保できるように業務の効率化
年間計画に落とし込み組織としての動きを職員全体に明確化する



社会福祉法人光輪会 基本理念
「 わたし達は、利用者に自分の親や自分自身が
提供されたいと思うサービスをおこないます 」



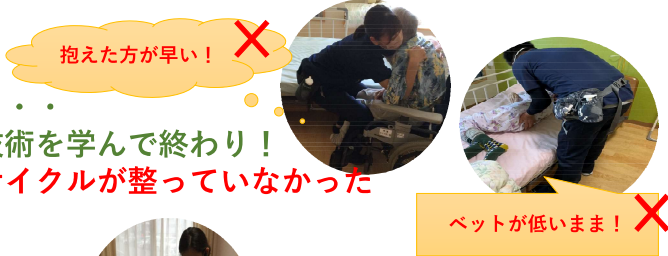
介護職員 19名
EPA介護福祉士候補者 3名

【昨年度の反省から】

- ノーリフティングケアの研修1年目が終わったからと言って、取り組みを緩めることなく、継続して実技の伝達講習や理解度チェック等の実施を行っていく！
- 来年度は全職種で腰痛者ゼロの実現に向けて日々取り組んでいく！

【NLC取り組み前】

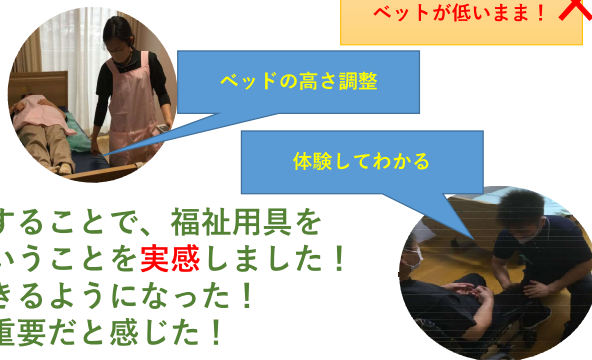
福祉用具は揃っていた・・・
技術教育もあったが、技術を学んで終わり！
そこから現場へ活かすサイクルが整っていなかった



【NLC取り組み後(1年目)】

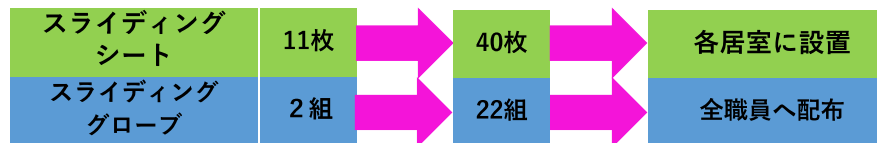
NLC研修により・・・

- 自分が入居者役をして体験することで、福祉用具を活用した方が、体が快適ということを実感しました！
- 福祉用具を日常的に使用できるようになった！
- アセスメントを取ることが重要だと感じた！



【NLC取り組み後(2年目)】

- 福祉用具(シート、グローブ)の数が充足し、福祉用具が日常的に使いやすい体制へ！
- 職員の腰痛の悪化がない！



【職員の反応】

- シートやグローブの持ち運びがなくなって、不便さが解消
- 2年目も研修を受けて、さらに活用が上手くなった
- 入居者様からも「これよかね♪」と声が増えてきた

職員の考え方の変化

環境面

入居者様との関り以外でも、腰痛に関する意見が増加

介助方法

介助時に腰への負担や姿勢の見直しの検討が、日常的に多く上るようになった
ケアプランへの反映を意識して業務ができている

ケアプラン案も簡単に記入できる

①～④の記入をお願いします。④について具体的な案が思い浮かばない時は思いっくだきで記入をお願いします。	A様
①どのような介助の時に	離床介助で搬送位にするときに
②どのような負担があるので(利用者・職員)	全介助で体を起こしているため職員の腰が痛くなる
③どのような改善・工夫する(介助方法の工夫、福祉用具・設備の活用)	ベッドの調節ギヤジャックを使って起こす動作を無くす。

ヒヤリハット(入居者関連も含む)

	6月	7月	8月	9月	10月	11月
令和4年	99件	85件	94件	63件	91件	85件
令和3年	54件	54件	53件	63件	91件	99件

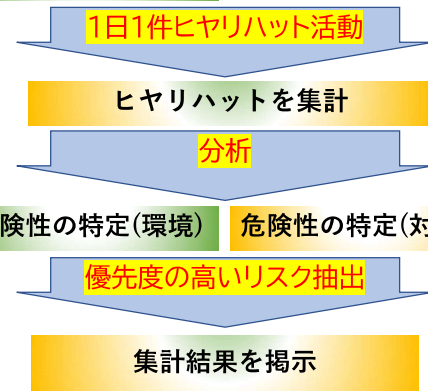
取り組み当初より件数が増加傾向

Good

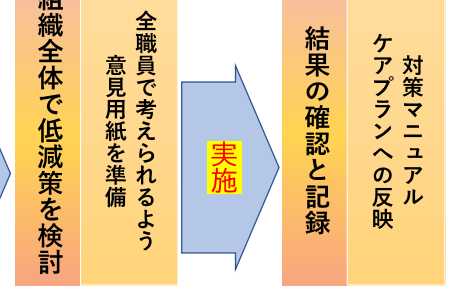
取り組み当初は指示により、ヒヤリハットが上がっている傾向があったが、現在では職員が主体的にヒヤリハットを上げている傾向にある

【事故防止検討委員会との協力】

事故防止検討委員会 NLC推進委員会



日	ユニット名	時間	発生場所	内容・状況
たんぼほ 1		16:30	ケガ	ホールで洋服を履き替えて戻った際に、職員2名でベッドに倒れ、職員が力強い行為が原因でケガした。
たんぼほ 1		17:40	ケガ	車椅子より前方に倒れ掛かっていた。ベッドに倒れる音が響き、職員が倒れる。その際ベッドに手をぶつけている。
たんぼほ 1		20:40	腰痛	多量の便頭蓋で衣類の洗浄に時間がかかり腰痛がひどく、転倒の恐れがあった。
たんぼほ 1		12:30	ケガ	ゴールアシスト時に立位が不安定でスポンを踏下す際に倒れかけた。寝る際に腰に負担があり腰痛になるリスクがあった。
たんぼほ 1		20:45	腰痛	便頭蓋の回数が多い。空輪で腰が痛くなった。
たんぼほ 1		9:00	腰痛	移動時腰の痛みがひどい。
たんぼほ 1		17:00	腰痛	新しいヘッドレストを付けている為、アームレストが硬い状態に保たれていない状態で抱え上げる動作に慣れていない。
たんぼほ 1		17:55	腰痛	起立時に腰を痛めた。
たんぼほ 1		3:00	腰痛	アームアシストが硬い。道具を取り、オムツをカバンに入れる動作が原因で腰痛になる。
たんぼほ 1			腰痛	トイレでの起立時、腰に負担がかかるおそれあり。トイレ介助時、起立状態を早く、職員の腰に負担がかかる。



初めてデモ機依頼ができた(arjo サラステディ コンパクト)



デモ機を使用して

対象者 11名中 → 1名が適合 → 購入は見送り

良かった点

適した入居者様に使用することで、安全で身体への負担が軽減！
練習したい！意欲にもつながっている
職員も抱え上げ、支えの負担が軽減！

良くなかった点

設備の問題と入居者様に適していない
職員の取り扱いと声掛けが良くなかった
教育の体制が不十分だった



指導しながらデモンストレーション

練習しようかな

これは楽ね♪



【NLC活動当初と現在の腰痛調査の比較】

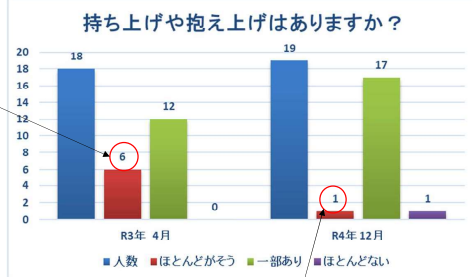


法人内の職員の異動により変動している腰痛者は実質変わっていない

氏名	年齢	腰痛の原因	腰痛の有無	腰痛の原因	腰痛の有無
F氏	20年前	中等度 最初の仕事でのオーバーワーク	有	コルセット、ストレッチ	有
G氏	10年前	軽度 仕事を始めて10年して原因不明	有	腰痛体操、ストレッチ	有
H氏	30年前	軽度 前職のバッテリー運搬	有	ストレッチ	有
I氏	3年前	軽度 テーナ交換・入浴介助	有	ストレッチ	有
J氏		軽度 ベッド交換	有	ストレッチ	有
K氏		軽度 入浴介助	有	ストレッチ	有

腰痛の原因を調査

NLC活動を始めてからは腰痛が悪化することがなかった
日常業務の中でも、持ち上げや抱え上げの介護が減少した



リフトがない為、トイレ、入浴であると回答された

腰痛者は自施設で介護従事する以前から症状があり、慢性化していた

【3年目の目標】

組織全体の目的・目標を全職員で共有していく

- 年間計画の完成
- 定期的な教育研修ができる体制を確立する (教育体制の見直し、業務の効率化)
- 地域連絡協議会のメンバーとの連携 (困難事例にも取り組む)
- スタンディングリフトの導入
- 同法人くすのき通りと同系列アルテンハイムヨコクラの3施設で協力体制を作ること
- 情報共有にチェックシートも合同で統一し改善に繋げる
- 実技研修会を実施など